

旧ソ連・ロシア どう考える **日本共産党**

旧ソ連もロシアも 社会主義とは無縁

旧ソ連がおこなったチェコスロバキアへの侵略（1968年）、アフガニスタンへの侵略（1979年）などにたいし、社会主義とは縁もゆかりもない覇権主義だと、断固反対をつらぬいた自主独立の党が日本共産党です。

全千島の返還を主張 ロシアに「強硬な姿勢しめす政党」

テレビ東京
ネット 3月11日

北千島・南千島の全千島列島と歯舞・色丹島を、第2次大戦後、旧ソ連は「領土不拡大」という国際約束を破り、不当に占拠しました。

ソ連崩壊を 「もろ手をあげて歓迎」

1991年にソ連共産党が解体したとき、「覇権主義の巨悪の党がなくなったことに、もろ手を挙げて歓迎します」と声明を出しました。ソ連共産党を名乗る党がなくなって31年。いまのロシアの政権は「共産党」とも「共産主義」ともまったく無関係です。



この行動を日本共産党は批判。全千島は日本の歴史的領土で、全面返還すべき、歯舞・色丹は北海道の一部ですぐに返還をと主張しています。

9条生かした外交で 平和をつくりだす

日本共産党の安全保障論の根本的立場は、「軍事対軍事」の立場を厳しく退け、憲法9条を生かした積極的・能動的な外交の力で東アジアに平和を創出することです。

「攻められたらどうする」でなく、いかにして平和な国際環境をつくるかが、何よりも大事です。

「敵基地攻撃」が現実的危険

日本にとって現実的な危険は、安保法制を発動して集団的自衛権を行使し、自衛隊が米軍と一緒にあって「敵基地攻撃」に乗り出すことです。それを絶対に許さない—9条を守り抜き、東アジアの平和創出へ、ASEAN(東南アジア諸国連合)という「平和の枠組み」を東アジア全域に広げることがをめざします。

共産党が参加する民主的政権ができ、万が一の急迫不正の主権侵害が起きた場合、自衛隊を含めあらゆる手段を行使して国民の命と主権を守ります。

和歌山カジノ 頓挫

県議会誘致計画案を否決

和歌山県議会は20日、県が和歌山市への誘致を進めてきたカジノを中核とする統合型リゾート（IR）の区域整備計画案を否決しました。これにより県は国への計画認定を申請できなくなり、和歌山カジノは頓挫しました。自民や公明などは賛否で内部分裂、議案は反対が日本共産党など22、賛成は18でした。

カジノをめぐるのは、事業者が県と基本協定を結んだその日に取締役全員が交代。県は県議会特別委で資金面の不透明さに答えることができませんでした。誘致の賛否を問う住民投票条例の制定を求める署名が1カ月で必要数の3倍を超える2万39集まるなど、住民運動が大きく広がりました。